要件定義書

未完成項目はこのように色を付けています

＜目次＞

1. システム化のねらい
2. システム化要件

2.1システム化対象範囲（全体像）

2.2業務要件

2.3システム要件

2.4移行要件

2.5運用要件

1. システム化のねらい

(１)システム化の目的

新たなアプリを作成し、学校とのやり取りをどうすれば見やすく感じるか、どのような条件だと不満に感じるかなどに観点を置き、様々な可視化方法を使い、ユーザビリティの向上につなげられるような研究を行う。

(２)現行システムの問題

・課題や提出アンケートなどをGmailやOutlookで行っているため、管理が難しい。

・課題が出ていたか、課題を提出したかの情報をすぐに取り出すことができない。

・フォームズでの提出のため、再提出などが簡単にすることができない。

(３)システム化の方針

・課題提出に特化したアプリを作成し、そこで課題を管理する。

・課題,期限日,提出状況の確認、提出期限日が迫っている課題を表示させるようにする。

・再提出は各自で行うことができるようにする。

1. システム化要件

2.1システム化対象範囲（全体像）

課題管理アプリでは、大学生である学生と教師を対象とする。

2.2業務要件

生徒側

2.2.1課題提出

・課題を提出することができる。

・期限内であれば再提出を行うことができる。

2.2.2課題提出確認

・出したかどうかを確認することができる。

・今までどんな課題があったかを確認できる。

2.2.3期限日確認

・終わらせていない課題を表示させる

・期限日が近づいている課題を通知してくれる

2.2.4課題受け取り

・課題で使用するファイルやフォルダをダウンロードすることができる。

教師側

2.2.5課題を出す

・生徒側に課題を出すことができる。

2.2.6課題提出確認

・生徒側の今までの課題提出状況の確認を行うことができる。

2.2.7期限日

・期限日に近くなっても課題を提出していない生徒や、期限日を過ぎても出せていない生徒を表示させる。

2.2.8情報掲示

・情報掲示板として学生に報告すべき内容などを書くことができる。

2.3システム要件

　2.3.1ソフトウェア要件

　・開発ソフトはVScodeで言語はPythonを使用する。

　・フレームワークはDjangoを使用する。

　2.3.2ハードウェア要件

　➀サーバ

　　・後で考えます。

　➁端末

　　・基本はパソコンでの活用を前提とする。(スマートフォンでの参照も可能とする)

　2.3.3ネットワーク要件

　　・セキュリティのことやネットワーク構成について書く。

2.4移行要件

　2.4.1システム移行

　・現在行っているメールから課題提出のためのリンクを踏むのではなく、webアプリで管理するようにする。

　・生徒に個人アカウントを作成してもらい、教師は管理者アカウントとして作成し、クラスグループの作成や生徒の管理を行う。

　2.4.2データ移行

　・移行時管理アカウントでは、今まで提出してもらっていた課題を過去の課題として参照してもらえるようにデータを載せておくことができる。

　データベースの概要が見えてきたら必要な項目載せます。

2.5運用要件

　2.5.1性能要件

　・トランザクションレベルは、リアルタイム処理を原則とし、一貫性及び整合性を維持するために十分な排他的処理が行われていること。

　2.5.2安全対策

　➀データ保護対策

　　・データを保護する方法を書く。

　➁セキュリティ対策

　個人認証

　　・認証方法や手順を書く。

・権限設定法についても書く。

　ウイルス対策

　　・後々考える。

　2.5.3運用管理

　　・運用は基本的に24時間使用できるものとする。

　　・バックアップなどを考慮する場合はここに書く。